事 業 コード 61230012

事 務 事 業 名 水族博物館一般管理事業

【1枚目】

007010101

- 7	<mark>予算書の事業名</mark> 2.一般管理費	課名等	水族博物館 政 策 名 1 明日を担う人づくり 款 1. 水族館費					費				
H	業期間 開始年度 昭和56年 終了年度 当面継続 業務分類 1. 施設管理	係 名 等		管理係	施策	名 2 生涯学	習の推進	Ĺ		項 1. 水族館	費	
3	尾施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	記入者氏名		倉元朋就	区	分なし				1. 水族館	 管理費	
		電話番号		0765-24-410	200 基本事業	名博物館の充	実			項 1. 水族館費		
	事業概要 (どのような事業か。事業の内容、業務の手順など)							実	績		計画・目標	
水	族博物館の施設の維持管理と運営。修繕は除く。						単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) ①県内外の入館者(市民を含む)②水族博物館の施設			① 年間入	館者数		人	134, 377	126, 56	2 120, 000	145, 000	145, 00
対象		ı	→ ‡	付▶■■■■	物館施設		式	1		1 1	1	
			杉	* L .								
	<平成23年度の主な活動内容> 水族博物館の施設の維持管理と運営		3:	① 入場料	その他の収入		千円	64, 216	62, 93	4 59, 689	70, 114	70, 11
	委託業務の一部見直し <u>リピーターを増やすために年間パスポートの発行</u>			助 [2]			[Ti		
· PX	*平成24年度の変更点 変更なし			∰ ·								
	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) ①入館者が快適に、水族博物館で過ごすことができる。 ②施設の不具合を早期発見し、対応することができる。	③入館者数が		① 本年度	の入館者数/前年度の	入館者数	%	87. 02	94. 18	8 94.82	120. 83	100. 0
意図	維持でき、リピーターが増加する。		→ ‡		 その他の収入/歳出合	 計	%	40. 73	45. 14	4 26.89	40. 00	40.0
			杉	∰ <mark> ·</mark> ③								
そ	<施策の目指すすがた>		1	成果指標が現	段階で取得できていた	ない場合、その	取得方	法を記入				
の結果	より魅力ある水族博物館を目指して、企画や展示の充実と施設設備の整備が行われています。 また、アウトリーチ活動やITを活用するなど積極的な情報発信が行われています。											
	この事務事業開始のきっかけ(何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか)				財 (1)国・県支出金		(千円)	0	,	0 0	0	
昭和	旬56年の水族博物館の開館に伴って開始。				源 (2)地方債		(千円)	0		0	0	
					内 (3)その他(使用料		(千円)	97, 844	,	,	98, 000	98, 00
					(4)一般財源 A. 予算(決算)額((1)		(千円) (千円)	97, 844		0	98, 000	98, 00
•	開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化が	など)			①事務事業に携わる		(人)	2	34, 23	2 2	2	30, 00
1	施設の老朽化 ②入館者の減少 ③近隣の水族館、動物園、博物館のリニューアルや施設の増設。 ④余暇の過ごし		⑤委詞	モ業務内容の	②事務事業の年間所		(時間)	1, 080	1, 080	0 1,080	1, 080	1, 08
変化	と ⑥諸経費の高騰 ⑦施設整備に伴う地方債の償還				B. 人件費 (②×人件	+費単価/千円)	(千円)	4, 541	4, 54	1 4, 541	4, 541	4, 54
					事務事業に係る総費	·用 (A+B)	(千円)	102, 385	98, 83	1 104, 168	102, 541	102, 54
					(参考) 人件費単価		(円億時間)	4, 205	4, 20		4, 205	4, 20
					◆県内他市の実施料			いる内容又は把握		由の記入欄)		
讓:	会:入館者数の維持、高齢者割引きの設定 隣接売店:外部施設の充実 市民:特になし				○ 把握してい	5	他市に	比較できる水族的	店がない。			
					● 把握してい	ない						

部・課・係名等 コード1 09070100

(教育機関)

部 名 等

政策体系上の位置付け

政策の柱基4 人と文化を育むまちづくり

コード2

612003

予算科目

コード3

会計水族館博物館事業特別会計

1 ##	(ct nte	(古及古墨の松原の日松上上は上に上上では成(上及、本国の皮を成)」での田上※田)		37 /m² /-	+ H - 5.44	Mart L A de extensión de la companya	
		(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明) 入館者にとって快適な施設の状況を維持することで、入館者数の維持とリピーターの増加が期待できる。				総括と今後の方向性	
● 直結度大		○ 八郎台にとつて 大郎台の 小川 八郎台 次の 神行とり にーダーの 増加 か 期付 できる。 	(1		価結果の		
直結度中		明			目的妥当		
○ 直結度小				② 本	有効性	○ 適切 ● 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の妥	当性	生 (なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		3 \$	物率性	● 適切 ○ コスト削減の余地あり	
		り市による実施が義務付けられている		4 4	公平性	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり	
○ 法令などめ、市に	によ よる	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) なた 実施が妥当	(2			務事業の方向性 やのまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
● 民間でも	サー	ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当) 終了		
○ 市が実施	して	いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当			他の事)事務事業と統合又は連携	
		成しているので、市の関与を廃止が妥当		() 目的!	り見直し	
根拠法令等を記					事務事	8事業のやり方改善	
3 目的見直しの	(全)	也(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)					
о. даудшо.	- 23 (- 1	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地はない。	★池	古.改	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
	=14		A (A)	- 以		計画的な施設の整備を進めることで、入館者数の維持やリピーターの増加が見込める。	コストの方向性
なし	説明				_		ロハトのカ同正
	91						
1 + +	т: /т			Yhr 1	年度		
【有効性の記					成24		
4. 成果向上の余	₹地	(成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)		年	度)		増加
		施設の充実と接客の充実により成果向上が見込める。					
あり	説		実施				
85 9	明		施予				
			定			平成25年の魚津水族館開館100周年事業に伴う料金の見直しや委託契約の見直し、また施設整	成果の方向性
5. 連携すること	で、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	時期		1	備と改修を行う。	
		施設整備事業と連携することで、より顧客ニーズに合ったサービスの提供が可能になり、効果が高まる可能性がある。	791				
	説			中・手	長期的		
あり	明				3 ~ 5		向上
				年	间)		17
【効率性の評値	II 1						
1 /// / / / / / / / / / / / / / / / / /		♪ は、(比較のか見なの坊もも) じる肌をエナセスとしる。 東半康と約はつきも) (人) 第四、つきも) (項中す 30円)					
0. 争来質の削例	人りフラ	☆地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明) 多様化するお客様からの問合せや要望、老朽化した施設設備の不具合などに適切に対応し、サービスの維持向上を図る					
		タボにするの各体がもの向うとで安全、名代にした肥設設備の不具合などに過りに対応し、サービスの維持向上を図る ためにはこれ以上削減の余地はない。。					
なし	説						
-	明					長総括評価)	
			魚津	水族飢	官のあり	り方を、見直す時期に来ている。博物館としての活動と、観光施設としての位置づけが、魚 ている。平成25年度の100周年以降における、魚津水族館の方向性を明確にすることが必要で	津市と 『ある。 二次評価の要?
7. 人件費の削	減の	余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	さら	に、四	9代目の	ている。 干成20千度の100周年以降における、 無澤水族語の方向ほど明確にすることが必要で のの魚津水族館続についても、検討を始める時期に来ている。	
		多様化するお客様からの問合せや要望、老朽化した施設設備の不具合などに適切に対応し、サービスの維持向上を図る ためにはこれ以上削減の余地はない。。					
なし	説	/_ロノ 〜i& 〜イレ炒上門がVノホゼiは/よい。。					
なし	明						
							不要
【公平性の評価	1						
	_	との余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)					
		平成23年度に入館者斡旋契約を廃止した。また、リピーターを増やすため年間パスポートの発行を実施した。	+ -	次評句	析 (経労	営戦略会議評価)	I
	3%		_	- VCHI III	- ()庄白	는 [27년 2 4 1820년] 1947	
なし	説明						
	91						
	· ·	and the first test of the second seco					
9. 受益者負担の	適工	E化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)					
		入館料は、昭和56年の開館以来、消費税分を値上げしただけである。平成21年度より土日祝日の中学生以下の入館料を 有料とし、市内在住の中学生以下は全開館日の入館料を無料にした。					
低い	説	BALCON BUILDANT TENT IN TIME IN WALL CHILD (10)					
ien o .	明						
			L				

事 業 コード 61230012

事務事業名 水族博物館施設管理事業

【1枚目】

007010101

コード3

会計 水族館博物館事業特別会計

予算書の事業名 2.一般管理費	課名等		水族博物館	1	政策名	1 明日	を担う人づ	がくり		款			
事業期間 開始年度 昭和56年 終了年度 当面継続 業務分類 1. 施設管理	係 名 等		管理係		施策名	2 生涯	学習の推進			項	1. 水族館:	費	
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	記入者氏名		倉元朋就		区分	なし				Ħ	1. 水族館	管理者	
V 10 V 10 0 11 INCOMENTAL OF 11 VILLE 11 INVAL • 11 VILLE 11 VILLE 11 INVAL • 11 VILLE 11 VILLE 11 VILLE 1	電話番号		0765-24-410			博物館の	女宝						
	电阳雷与		0703 24 410		巫 平 汞 4	特物館の。	.						
◆事業概要(どのような事業か。事業の内容、業務の手順など)								実	績			計画・目標	
水族博物館施設の維持・管理する事業							単	^	.134			HIM HOX	
							位	22年度	23年度		24年度	25年度	26年度
(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など)			<u>.</u>										
①水族博物館の修繕を要する施設、設備			┆ │ 当初修	繕予算			千円	3, 300	4, 25	50	4, 300	4, 750	4, 750
対		× 1	対▶ ■■■■ 象 2 指 ②							7			
\$		Ŧ	指 I ৺ 票 ┗										
		-	* I ③										
く正命00万年のとわば私中内へ			<u>i</u>										
<平成23年度の主な活動内容> 水族博物館の施設・設備の修繕の実施			① 実施し	た修繕の総件	数		件	48	5	55	45	45	45
±		7	舌									+	
*平成24年度の変更点			助「② 修繕に 量「	要した費用			千円	5, 293	5, 77	79	4, 300	4, 750	4, 750
変更なし		币	票							7	:		
			1 ⁽³⁾										
(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか)			① 修繕件	数の前年対比	;		%	100.00	114. 5	58	81. 82	100.00	100.00
①施設・設備が適切に管理ができる。		Æ	成 							·		+	
<u> 意</u> 図		→ ‡	戊┗━━━ 果╹② 修繕に 指╹② 用	要した費用/育	前年度の修	経に要した	-費 %	67. 84	109. 1	8	74. 41	110. 47	100.00
		柞	票	. – – – –						· 			
			3										
そ <施策の目指すすがた>		1	成果指標が現	段階で取得で	できていな	:い場合、そ	の取得方法	法を記入					
のより魅力ある水族博物館を目指して、企画や展示の充実と施設設備の整備が行われています。 結また、アウトリーチ活動やITを活用するなど積極的な情報発信が行われています。													
結 よん、 プラドラー プロ 到 で 1 1 さ 石													
◆この事務事業開始のきっかけ (何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか)				(1)国・!	具支出金		(千円)	0		0	0	0	(
昭和56年の水族博物館の開館に伴って開始。				源 (2)地方			(千円)	0		0	0	0	(
				内 (3)その作	也(使用料	・手数料等)	(千円)	5, 293	6, 07	71	4, 300	4, 750	4, 750
				(4)一般!	財源		(千円)	0		0	0	0	(
				A. 予算(決			(千円)	5, 293	-	_	4, 300	4, 750	4, 750
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化 開発的以内のためない。 おおいまり またがた かんかん かんだい かんきまんかん フェス・ナル・ルタデル ましていたい のなかん			511 mm = 25	①事務事業			(人)	2		2	2	2	2
開館以来29年が経過し、施設・設備の老朽化に伴い、修繕費が増大している。また、当初計画をしていない突発的なで小修繕を行っているものの、当初予定していた修繕を先送りしたり、補正予算を計上せざるえない。今後も修繕費	は修繕か多くなつして 費の増加が見込まれる	50°	おり、臧貝寺 で、抜本的な	②事務事業			(時間)	960 4, 037	96	_	960 4. 037	960 4, 037	960 4, 037
修繕計画が必要である。				B. 人件質 事務事業に		費単価/千円) 目 (A+R)	(千円)	9, 330		_	8, 337	4, 037 8, 787	8, 787
				(参考)人		14 (N D)	(円@時間)	4, 205		_	4, 205	4, 205	4, 205
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)				◆県内他市		:况	1	いる内容又は把				1, 200	1, 200
市民:安全対策の向上要望。					E1 ~	県		比較できる水族	•				
				○ 把	屋している	` →							
				● 把持	屋していな	261							

部・課・係名等 コード1

09070100

(教育機関)

政策体系上の位置付け

政策の柱基4 人と文化を育むまちづくり

コード2

612003

	- Н					and the second s	
1. 施策への直	結度	(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)	*	評価	結果の総	総括と今後の方向性	
● 直結度大		施設の適切な維持・管理は、当館での生涯学習の推進に直結するため必要性が高い。	(1	1) 評	価結果の	の総括	
直結度中		明		1	目的妥当	当性 ● 適切 ○ 目的廃止又は再設定の余地あり	
直結度小				2	有効性	○ 適切 ● 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の多	当性	E(なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		3	効率性	■ 適切 ○ コスト削減の余地あり	
法令など	によ	り市による実施が義務付けられている		4	公平性	○ 適切 ● 受益者負担の適正化の余地あり	
○ 法令など め、市に	によ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なた 実施が妥当	(2			務事業の方向性 のまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
■ 早間でも	#_	ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当					
_		いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当				事務事業と統合又は連携	
		成しているので、市の関与を廃止が妥当			○目的		
O MICHIN	で 庄	成しているので、中の例子を廃止が安日			_	事業のやり方改善	
根拠法令等を記					争伤	争来のマリカ以音	
3. 目的見直しの		也(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)					
		現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地はない。	★改	文革・改		(いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
なし	説					平成25年の開館100周年に向けて、施設整備を進めているため、修繕については先送	コストの方向性
άL	明					りになっている箇所もあるが、計画策定した修繕内容を遅滞なく実施する。	
【有効性の記	亚価	1			(年度		
1 147771		(成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)			平成24		増加
4. 成木向工の方	7 115	修繕計画の策定と適切な実施により、施設の基本的機能を維持できる。		年	度)		坦加
		参照日 国ソスたに担切ら大心にのう、心に以び全かり別はと難けてでも。	実				
あり	説		施予				
	明		予				
			定時			計画的な修繕・改修を行うことで、事故やトラブルが減る。	成果の方向性
5. 連携すること	で、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	期				
		施設整備事業と連携することで、より効率的な維持管理を行えるなど効果が高まる可能性がある。					
	説				長期的		
あり	明				3~5 E間)		向上
				7	-[H] <i>)</i>		
【効率性の評化	# 1						
1 777 7 1— 111 1		や地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)					
0. 事未真少的時	(V)	施設の老朽化に伴い、事業費が増大する。					
		ルのながも行うには、チススタイスクラ。					
なし	説明			w/	feet / 2m F	er (s) (at the last)	
	1973					長総括評価) Tanahan Marakan Salahan	
			老杓かっ	化やってけ	法令の3 . 改修・	変更などに伴う修繕・改修などは、随時、生じてくるし、増加が予想される。また、100周年 ・リニューアルを優先しており、大きな修繕工事が先送りされているので、そのつど、優先	Fに同 順付を 二次評価の要?
7. 人件費の削	減の:	余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)				率的に事業を推進する。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		人件費を削減するとその分、日頃のメンテナンスに関る時間が減少し、事業費が増大する。					
なし	説						
74 C	明						7 #
							不要
【公平性の評価	1						
		どの余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)					
		業務内容の見直しで、適正化できる可能性はある。	*-	~ 次 評	価 (経党	営戦略会議評価)	<u> </u>
			^_	- 5/41	n== (7020 P	□ L ^{AC} CI → MAHT IIM/	
あり	説明						
	-51						
9. 受益者負担の	適正	E化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)					
		修繕工事費の増加が入館料に反映されていないので、今後も受益者負担は少ない。					
低い	説						
HP. C.	明						

事 業 コード 33120005

務 事 業 名 水族博物館観客誘致事業

【1枚目】

007010101

予算書(の事業名	6. 観客誘致事業					課名等	水族博物館	Ė į	效策名3	交流と連携に	よるにぎわい創出	Н	款 1. 水族館	官費	
事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	業務分類	6. ソフト事業	係 名 等	管理係	方	拖 策 名 1. 	観光の振興			項 1. 水族館	官費	
実施 方法	〇 1. 指	定管理者代行(2. アウト:	ノーシング 〇 3	. 負担金·補助金	● 4. 市直営	記入者氏名	倉元朋就		☑ 分なし				1. 水族館	官管理費	
		,					電話番号	0765-24-410	00 基	基本事業名 情報(の活用と受け	ト入れ態勢の整備				
重業概要 ()	ジの とうか 東幸	なか。事業の内容、	業務の毛順	(نا ه								4	E 績		計画・目標	
					曽加を図ることを目	目的としている。ただし	、広告宣伝事務に	は除く。			単位		23年度	24年度	25年度	26年度
(この事務 ①入館者 ②観光業者 ③市内外の		何を対象にしてい	いるのか。※人	や物、自然資源な	: ど)			① 入館者 対 ►	数 		۸	134, 377	7 126, 56	2 120, 000	145, 000	14
①外部イベ		活動 ②パンフレ				つけとプレゼント実施		標」。	館者数			33, 134	1 28, 30	9 28, 140	34, 000	34
*平成24年	度の変更点	施設利用者の割引)実施 ⑦オリジナ	ル商品の開発・販売		活	 :利用者数 		٨	14, 743	13, 78	700	700	
①観光業者 ②入館者が	が水族館をP	、対象をどのよう Rし、お客さんか 来館する。)				① 団体入	館者数/入館者		%				+	
								標	:利用者数/入館 				7 10.8	9 0. 58	0.58	
	指すすがた> 効果的に発信	され、全国各地か	いら多くの人が	訪れています。				↑成果指標が現	見段階で取得で	きていない場合	、その取得	方法を記入				
				さっかけで始まった					(1)国・県	支出金	(千円	0)	0 0	0	
和56年のス	k族博物館の開	閉館に伴い、観光 第	業者からの利用	目客の誘致のため!	こ始まった。				源 (2)地方债	•	(千円		'	0 0	· ·	
									(3)その他(4)一般則	(使用料・手数料	(千円 (千円	· ·		1 1, 738		
										章)額((1)~(4)の合				-		
昇始時期以 征	後の事務事業を	取り巻く環境の変	変化と、今後う	予想される環境変 (化(法改正、規制総	受和、社会情勢の変化な	ど)			こ携わる正規職員		2	_	2 2	,	
丘隣の水族館	官・動物園・博	対館のリニュー				~100				の年間所要時間	(時間				440	
入館者の減り 交通網の発達		宮者の移動距離の打	広大。						B. 人件費(②×人件費単価/	千円) (千円	1, 850	1, 85	0 1, 850	1, 850	
来館者ニース	での多様化。								- 00 - 7111 7	系る総費用(A+	B) (千円	3, 807	2, 43	1 3, 588		
少子化。									(参考) 人作	井費単価	(円億時	-,			4, 205	4
					れた意見・質問など				◆県内他市	の実施状況		ている内容又は把		由の記入欄)		
髪会:施設の ₹	可効利用と入館	3者数の維持を図る	6。 隣接 <i>0</i>	○売店:客を集めて	て欲しい。 市員	そ:特になし				遣している ■ 遣していない		に比較できる水族	館がない。			

09070100

(教育機関)

部・課・係名等 コード1

部 名 等

政策体系上の位置付け

コード2

政策の柱基1 にぎわい、活力あるまちづくり

331002

予算科目

コード3

会計水族館博物館事業特別会計

1. 施策への直結度 (事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)	★ 評価結果の総括と今後の方向性	
直結度大● 直結度大● 冬季間を除き、無休で開館している施設であり、今後の魚津市の交流人口を維持・増加させていくためにも、当館	(1) 評価結果の総括	
説 のみならず魚津市全体の情報発信源として活用していくことが望ましい。	① 目的妥当性 ○ 適切 ● 目的廃止又は再設定の余地あり	
- - 91	S	
○ 直結度小	② 有効性 ○ 適切 ● 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の妥当性(なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)	③ 効率性 ○ 適切 ● コスト削減の余地あり	
○ 法令などにより市による実施が義務付けられている	④ 公平性 ● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり	
○ 法令などによる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) なため、市による実施が妥当	(2) 今後の事務事業の方向性	
○ め、市による実施が妥当	○ 現状のまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
● 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止	
○ 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当	● 他の事務事業と統合又は連携	
○ 既に目的を達成しているので、市の関与を廃止が妥当	● 目的見直し	
相相外 众位大部 1	● 事務事業のやり方改善	
根拠法令等を記入		
3. 目的見直しの余地 (【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)		_
観光業者への訪問は廃止したので、今後は個人入館者や外国人観光客をターゲットにする必要がある。 費用対効果の評価により、福利厚生組織との連携を廃止したので、今後は館自体で来館への動機付けを強化する必要が	★改革·改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
あり 「説 ある。	平成25年の開館100周年に向けて、観客誘致計画の見直しの実施 市内博物館との合同企画の実施	コストの方向性
明		
【有効性の評価】	次年度	
4. 成果向上の余地 (成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)	(平成24 年度)	削減
ホームページの運用の連携で、成果の向上の余地がある。		
説	実	
あり <mark>説</mark>	施	
	予 定 平成25年の開館100周年に向け、継続的かつ計画的な見直しの実施	成果の方向性
the life is a first than the life of the life is a first than the life	時	成未の方向性
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(どう効果が高まるか説明)	期	
市内博物館や商工観光課、商工会議所、漁協などと情報の受発信や合同イベントの実施など、今以上に連携することで、効果が期待できる。	ch E #0.66	
**	中・長期的 (3~5	
明 明	年間)	向上
【効率性の評価】		
6. 事業費の削減の余地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)		
パンフレットの見直しやオリジナル商品の制作・販売で一時的に事業費は増大するが、長期的には収入増を見込めるの		
で、事業費は削減される。		
あり <mark>説</mark>	★ 一次評価(課長総括評価)	
	100周年に向けての、観客誘致は、計画を立てて対応する必要がある。また、通常でも、早めに事業計画	画を立てるこ
7. 人件費の削減の余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	とで、市内外の情報発信メディアに活用してもらうことに取り組みだした。ホームページやスマートフ	ファインに対す 二次評価の要
○ 人件質の削減の宗地(今の業務時間を上大しく少なくできないが説明、できない理由も説明)○今後、より関連施設や協力者と密接に連携する必要があるので、削減の余地はない。	る対応が、より重要性を増している。来館意欲を掻き立てるような内容の検と、発信方法については、 力が必要である。	専門家の協
	カルが女(の)な。	
ac bin in the control of the contr		
		不要
		1 9
【公平性の評価】		
8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)		
福利厚生組織との連携を廃止したので、適正化の余地はない。	★二次評価(経営戦略会議評価)	
説		
なし <mark>調</mark>		
0 尽大老有用小菜正化小会地(用内帕市上比較),菜工小水堆小)		
9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か) 関連施設や業者との契約内容の見直しで、適正化の余地がある。		
肉圧地以で木有との矢利内谷の元直して、避止ルのホ地がめる。		
平均		
T-79 F		

33120005

【1枚目】

007010101

	_			1									
事務事業名 水族博物館広告宣伝事務	部 名 等	(教育	機関)	政策の柱基1 に	基1 にぎわい、活力あるまちづくり 会計 水族館博物館事業特別会計 3 交流と連携によるにぎわい創出 款 1. 水族館費								
予 算 書 の 事 業 名 6. 観客誘致事業	課名等	水族	専物館	政策名3交流	と連携によ	くるにぎわい創出		款 1. 水族館費 項 1. 水族館費					
事業期間 開始年度 昭和56年 終了年度 当面継続 業務分類 6. ソフト事業	係 名 等	管:	里係	施 策 名 1. 観光	の振興			項 1. 水族館	'費				
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	記入者氏名	倉π	朋就	区 分なし				 款 1. 水族館費 項 1. 水族館費 目 1. 水族館管理費 計画・目標 24年度 25年度 120,000 145,000 28,140 34,000 34,000 36 36 36 175 180 94,82 120,83 					
	電話番号	0765-2	4-4100	基本事業名 情報の活	用と受けり	人れ態勢の整備							
◆事業概要(どのような事業か。事業の内容、業務の手順など)						実	績		計画・目標				
魚津水族館の魅力や活動をPRし、入館者の増加を図る事業。					単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) ①市民		(1) J	館者数		人	134, 377	126, 562	120, 000	145, 000	145, 000			
②県内外の観光客 対 ③保育園・幼稚園・学校の遠足担当者 象	-]体入館者数 			33, 134	28, 309	28, 140	34, 000	34, 000			
		3											
<平成23年度の主な活動内容> ①テレビ、新聞、雑誌等への広告掲載②JR魚津駅、地鉄富山駅、宇奈月駅の看板③情報誌への情報提供④報道機関への情報提供		1	・レビCM,新聞、 		件	35	37 	36	36	36			
き *平成24年度の変更点	-	動 ② 戊 指	報による新聞掲載	战(確認分) --------	件	168	170	175	180	180			
変更なし		3											
(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) ①市民の関心が魚津水族館に向き、市民の来館が増える。 ②水族館の魅力が伝わることで、県内外の入館者が増加する。		 ① <i>J</i> 成 L – –	館者の前年対比		%	87. 02	94. 18	94. 82	120. 83	100.00			
意 ③ 適足の利用が増え、入館者が増加する。	 →]体入館者の前年対	村比	%	97. 89	85. 44	99. 40	120. 82	100.00			
		標											
そ < 施策の目指すすがた > の 観光情報が効果的に発信され、全国各地から多くの人が訪れています。 結		↑成果指標	票が現段階で取得	できていない場合、そ	その取得方	法を記入							
◆この事務事業開始のきっかけ (何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか)			(1)国·	県支出金	(千円)	0	0	0	0	0			
昭和56年の水族博物館の開館に伴い、施設の紹介と普及、PRのために始まった。			源 (2)地方		(千円)	0	0	0	0	0			
			記	他(使用料・手数料等)		2, 604	2, 519		2, 400	2, 400			
			(4)一般 A 予算(注	(財源 と算)額((1)~(4)の合計)	(千円) (千円)	2. 604	2, 519	ū	2, 400	2. 400			
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化な	(الله:			に携わる正規職員数	(, , , , ,	2, 004	2, 013		2, 400	2, 400			
①開館以来30年が経過し、施設が老朽化。 ②近隣の水族館・動物園・博物館のリニューアルや施設の増加。				の年間所要時間	(時間)	440	440	440	440	440			
②余暇の過ごし方の多様化。 ④長期不況による観光客の減少。 ⑤交通網の発達により、入館者の移動距離の拡大。⑥少子化による遠足客数の減少。 ⑦広告予算の削減。				(②×人件費単価/千円		1, 850	1, 850	1, 850	1, 850	1, 850			
Service Service Service Base Base Base Base Base Base Base Bas			事務事業に	工係る総費用 (A+B)	(千円)	4, 454	4, 369	4, 369	4, 250	4, 250			
				、件費単価	(円@時間)	4, 205			4, 205	4, 205			
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)	. IM Mr ± 2= -01 :		◆県内他i	市の実施状況		いる内容又は把				en de chia carati			
議会:PRを充分に行い入館者数の維持を図る。 隣接の売店:水族館がマスコミに載るイベントの実施と新施設の 市民:特になし	理楽を行って欲し	ι ν 。	● 把		滑川市は、 を計画して		ャラクターを公募	景し、ホタルイカ	ミュージアムへの行	観光客の誘致			
			○把	握していない									

09070100

政策体系上の位置付け

331002

予算科目

コード3

11.50	I de			the fact to	L m - /	olet 1 6 co - Living	
	治皮	(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)				総括と今後の方向性	
● 直結度大		マスコミへの広告やイベント情報、ニュース情報の提供による新聞、テレビでの掲載は、魚津水族館に関心が向説、き、魚津市への観光客が増加する。	(1		価結果の	,	
直結度中		で、 水洋中 ・ の 就たをおいるかっています。		1	目的妥当	当性 ■ 適切 ○ 目的廃止又は再設定の余地あり	
直結度小				2 1	有効性	○ 適切 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の妥	当性	E(なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		3 \$	効率性	○ 適切	
法令など	によ	り市による実施が義務付けられている		(4) 1	公平性	○ 適切 ● 受益者負担の適正化の余地あり	
法令など	によ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なた	(2	(2) 今	後の事績	務事業の方向性	
8), 11110	ナの	天肥 <i>か</i> 女日		(〕 現状	このまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
● 民間でも	サー	ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当			終了	= ' = ''	
○ 市が実施	して	いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当			● 他の	事務事業と統合又は連携	
○ 既に目的	を達	成しているので、市の関与を廃止が妥当		(○ 目的	見直し	
根拠法令等を記	入				事務	事業のやり方改善	
3. 目的見直しの	余地	也(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)					
		現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。	★改	革・改	·善室((いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
	34		7.5	1		イベント等にあわせてマスコミへの情報発信を頻繁に行うとともに、無料掲載雑誌・パ	コストの方向性
なし	説明					ンフレット等への掲載やテレビ番組への協力など新たな広告宣伝活動の充実させる。	-711 000 PIE
	21						
7 	T: /TT			Who.	年度		
【有効性の評		•			平反 区成24		
4. 成果向上の余	:地	(成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)			度)		削減
		アンケート調査などにより顧客ニーズや観光客の動向などを把握し、広告宣伝につなげることにより、成果の向上が見した。					
4.0	説	込まれる。	実				
あり	明		施予				
			定			他の観光関連施設(博物館等含む)と連携をとりながら、効果的な広告宣伝の実施を図る。魚津	成果の方向性
5 海地オステレ	70	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(どう効果が高まるか説明)	時			市のみならず、新川地区全体の状況を視野に入れた共同広告活動の実施。	MANGONITE
J. 座かりること		広告媒体の有効性や費用対効果を検証することで、事業費の削減の余地がある。	期				
		ALLAMO HAIL (MINIMA ENEL) SEE CO PARVINIMO NEO 0000		т.,	長期的		
あり	説				3~5		
	明			年	間)		向上
【効率性の評価	6】						
6. 事業費の削減	の余	★地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)					
		広告媒体の有効性や費用対効果を検証することで、事業費の削減の余地がある。			•	<u> </u>	
	説						
あり	明		+ -	次証値	ਜ਼ (課長	長総括評価)	
						量の広告宣伝費は使っておらず、地元マスコミとの協調のために行っている感があるが、普.	段の取
7 1 (山東 小畑)	-A	∧ (b. (∧ o #76n+=+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	材を	円滑	こするだ	とめにも必要である。提供する写真や記事が代わり映えせず、マンネリ化している。100周年	このは 二次評価の要
7. 人件費の削	吸(/)	余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	た、	広告国	宣伝のガ	方法を観客誘致事業やホームページ事業と併せて、検討する必要がある。	
		情報発信の回数が事業の効果を高めるので、削減の余地がない。					
なし	説						
0.0	明						不要
							个女
【公平性の評価]						
		どの余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)					
		各広告媒体の有効性や費用対効果を検証することで、適正化の余地がある。	*-	次評値	而(経 党	営戦略会議評価)	
	⇒×	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	^_	- VALU	part (PEE)	— (^^□ → RAHT PM/	
あり	説明						
	17)						
9. 受益者負担の	適正	E化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)					
		広報の方法を検討することで、より受益者負担の水準を下げる余地がある。					
let	説						
低い	明						

事 業 コード 61230011

務 事 業 名 水族博物館ホームページ運用事務

【1枚目】

007010101

子	予算書(の事業名	3. 博物館事業					課名等		水族博物館	官	政策名	1 明日	を担う人で	づくり		款	1. 水族館	費	
事	事業期間	開始年度	平成10年	終了年度	当面継続	業務分類	6. ソフト事業	係 名 等		管理係		施策名	2 生涯等	学習の推進	<u>ŧ</u>		項	1. 水族館	費	
実	実施 方法	0 1.	指定管理者代行 〇) 2. アウトソ	ーシング 〇 3.	負担金・補助金	● 4. 市直営	記入者氏名		倉元朋就	;	区 分	なし				目	1. 水族館	管理費	
		"						電話番号		0765-24-41	00	基本事業名	博物館の3	定実						
	to all the sec.		alle a la de alle a la da	W 76 W 17	10)										-4	/			21 17	
			業か。事業の内容、 ージを利用した情 軸												美	績			計画・目標	
		, ,,	2 E43/12 07C18+	W201111-0-07	мµ п - п									位	22年度	23年度		24年度	25年度	26年度
	①市民		何を対象にしてい	るのか。※人	や物、自然資源な	ど)			4	① ホーム	ページアク	セス数		回	126, 816	79, 96	2	85, 000	87, 000	90, 000
	②県内外の ③魚津水族		心がある未入館者					•		対	館者数			٨	134, 377	126, 56	2	120, 000	145, 000	145, 000
									杉	票 L — — — —										
	1 //-	E度の主な活動 - ジを使った、		用案内。ホー	ムページに寄せら	れた質問に対する	回答。携帯電話用のホ	ームページの		① ホーム	ページ更新	回数		0	190	22	1	210	220	220
手	配信。法人	、サポーターの	のページの開設。 飼	育係からの話	題提供。				1	舌 助-2							†			
		- 度の変更点							1	指							↓			
	変更なし									3										
	①対象者の)魚津水族館(て、対象をどのよう に関する興味を増加	させ、来館を	促す。				-	¦① アクセ 朮	ス数の前年	対比		%	103. 24	63. 0	5	106. 30	102. 35	103. 45
意図	公 思泽小族	₹昭1〜興味かる	あるが、来館に至ら	はい対象名で:	木貼へつなける。				/ 2	スーー - - - - - - - - - - - - - - - - - -	の前年対比			%	87. 02	94. 1	3	94. 82	35. 00	100.00
Q										票							 		+	
	s the feter on 177	146 1-1-10 1-								1 3	D C1 84 T- /D		V. IB A 3	- 平/日上	VL 4 29 4					
その		指すすがた 効果的に発 (> 言され、全国各地か	ら多くの人が	訪れています。				T	成果指標が理	見段階で取得	できていな	い場合、そ	の取得万	法を記人					
結果																				
♦ 3	この事務事業	業開始のきっ	かけ(何年〈頃〉から	らどのようなき	っかけで始まった	(ペン)					(1)国・	・県支出金		(千円)	0)	0	0	0
							ームページから情報を	得ようとする人	が増え	えたから。	源 (2)地力			(千円)	0	-)	0	0	0
											内 訳 (3)その)他(使用料	・手数料等)	(千円)	294	28	2	282	282	282
											(4)一般	设財源		(千円)	0		0	0	0	0
											A. 予算(i	央算)額((1)~	(4)の合計)	(千円)	294	28:	2	282	282	282
							和、社会情勢の変化な				①事務事業	業に携わる፤	E規職員数	(人)	2		2	2	2	2
平月登信	或16年にァ ≘酒としての	ホームページ カホームペー	をリニューアルし、 ジの重要性が増して	ライブカメラ ている また	を設置した。(現 携帯端末サイトで	見在は故障中)家庭 『情報を得ている↓	への高速インターネッ	トの急速な普及	により	り、益々情報	②事務事業	業の年間所要	要時間	(時間)	220			220	220	220
JE 16		<i>77</i> /1 2 · ·	ノの主女はかねし、	CU-0. 2/2.	135 TH 200 A 7 1 1 C	HHKEN CO.OX	. O am C C V · O 。					(②×人件)		(千円)	925		_	925	925	925
												こ係る総費月	∄ (A+B)	(千円)	1, 219	1, 20	_	1, 207	1, 207	1, 207
_												人件費単価		(円億時間)	4, 205	4, 20		4, 205	4, 205	4, 205
			望・意見(担当者の	り私見ではなく	、実際に寄せられ	に意見・質問など	を記入)				◆県内他	市の実施状			いる内容又は把		由の記	人欄)		
币氏	式:内容の5	史新を頻繁に	行って欲しい。									型握してい <i>る</i>			同様の施設がな :内の動植物園も:		開設し	ている。		
											○ ft	≞握していな	211							

09070100

(教育機関)

部・課・係名等 コード1

部 名 等

政策体系上の位置付け

政策の柱基4 人と文化を育むまちづくり

コード2

612003

予算科目

コード3

会計水族館博物館事業特別会計

	'Z								
1. 施策への直流	吉度(事務事業の施策の目指すすがたに対	対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)	*	評価結果の	総括と今後の方向性				
○ 直結度大		情報を全国の方に提供できるので、魚津市への観光客誘致に対する貢献度は高い。	(1	評価結果	果の総括				
● 直結度中	説			 目的彩 	至当性 ■ 適切	目的廃止又は再	設定の余地あり		
直結度小	明			② 有効性	_	 成果向上の余地			
	当性(かぜ声が行わかければからかいの	か、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		③ 効率性		○ コスト削減の余			
	こより市による実施が義務付けられている			④ 分平L④ 公平性	<u> </u>	● 受益者負担の適			
						● 文金有貝担の週	正化の未地めり		
○法令など	こよる義務付けはないが、、公共性が非常	まに高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なた	(2	, , , , , ,	事務事業の方向性				
○ め、市に	よる実施が妥当			〇現	状のまま(又は計画と	ごおり)継続実施	年度		
● 民間でも	ナービス提供は可能だが、公共性が比較的	的高く、市による実施が妥当		終	了 ○ 廃止	〇 休止			
○ 市が実施	しているが、関与の必要性は低く、今後に	は市の関与を縮小(廃止)が妥当		● 他	の事務事業と統合又に	は連携			
○ 既に目的	を達成しているので、市の関与を廃止が	妥当		○目	的見直し				
0 221 1112				●事	務事業のやり方改善				
根拠法令等を記	入 <u></u>		<u> </u>		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
0 日始日本1 の	人地 / 【地名】 1. 【李丽】 5.5 英丽。 2. 四	4ウコル竹和 - 基本上 ** エムハス・キャーフ ** フ ** フ ** フ ** フ ** ** ** ** ** **							
3. 日的兄直しり	現状の対象と意図は適切であり、見	限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)	1 71		/: 10 = 1 = 1 = 1 = 1				North and the state of
	現仏の対象と息凶は廻切 (めり、兄	直しの未地なし。	★改	単・改善条		女革・改善を、どういうヨ			成果の方向性
なし	説				半成21年度で行った	と、ホームページの充実の	り結果を観祭する。	コスト	・の方向性
, a C	明								
【有効性の診	泛価 】		"	次年度					
■ 11 // 4 1=== . H	地(成果の目標は達成されたか、成果の)向上が今後どの程度目込めるか)	1	(平成2	4			,	維持
4. 风木門工の赤		でもらいやすくなるようなページレイアウト、コンテンツの精査・充実、動画配信		年度)				· · · · · ·	作 1寸
	など、成果の向上の余地がある。	てもらいですくなるようなペーンレイナット、コンナンノの相互・元夫、動画配信	実						
あり	説		夫 施						
85.9	明		施予						
			定			周年に向けて、ホームペー	ジ内での展示魚類の解説の増加などを行い、利	成果	の方向性
5 連携すること	で 今より効果が高まる可能性のある他	1の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	時期		便性の向上を図る。				
0. 22007 0 0 0		る可能性がある事務事業として、広告宣伝事業があげられる。	刔						
		United Worth The Cott Manager And On Show		中・長期的	fu fu				
あり	説			(3~5					
	明			年間)					向上
【効率性の評価	i]		-						
6. 事業費の削減	の余地(仕様や住民等の協力など手段を	:工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)	1						
		:地はあるものの、新たな内容構成の作成や構成の見直しは、外注をすることにな	l —					ı	
	り、事業費が増大する。								
なし	<mark>説</mark> 明			VL ⇒T /T /∃	B E (W. LT. FE (FE)				
	91				果長総括評価)	1 =			
						トフォン化か進む中で、 は、100周年記念事業の中	より重要性を増している。来館意欲を掻き立 bで事業展開している	こてるよう	二次評価の要否
7. 人件費の削		くできないか説明、できない理由も説明)	1.0.1	IX B1 C	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				> + + + + + + + + + + + + + + + + + + +
		が、サイト訪問者の増加につながるため、業務時間は増える。(ただし、一定以上							
	のHIML連用スキルを職員に対し義務	化するのであれば改善の余地はある)							
なし	明								
									不要
「ハボルムぎか			J						
【公平性の評価			.						
8. 受益機会の適	正化の余地(受益の機会が偏っていて不		 						
		体は情報の発信手段であり、特定の受益者はいない。 制度は、導入にあたり受益者負担を求めており、さらなるサポーターの増に向けて	*=	次評価(紅	E営戦略会議評価)				
4.0		制度は、導入にめたり支煙有質性を求めており、さらなるサポーターの頃に同じて 対するフォローなどの導入を検討していく余地はある。							
あり	明	ALL							
0 点头本名和《	 適正化の余地(県内他市と比較し、適正	けかれ海かり	1						
2. 又量有貝担(/		に《水华か) 法人の増加を図ることにより、水族館としての受益者負担額を増加することができ							
	法人サポーダー制度については参加 る。	本人の「自加で凶る」とにより、小族貼とし(U) 反 位有貝担観を増加することができ							
低い	説								
157 C ,	明		1 1						

事 業 コード 61230013

事務事業名 水族博物館施設整備事業

【1枚目】

007010101

コード3

会計水族館博物館事業特別会計

	予算書の	の事業名	7. 施設整備事業					課名等	水	(族博物館	政	策名	1 明日を	担う人づ	うくり		款 1. 水族館費 項 1. 水族館費		費	
	事業期間	開始年度	平成20年度	終了年度	当面継続	業務分類	1. 施設管理	係 名 等		管理係	施	策 名	2 生涯学	習の推進			項	1. 水族館	費	
	実施方法	〇 1. 指	定管理者代行) 2. アウトソ-	ーシング 〇 3	. 負担金·補助金	● 4. 市直営	記入者氏名	1	倉元朋就	×	. 分	なし				目	1. 水族館	管理費	
								電話番号	076	65-24-4100	基	本事業名	博物館の充	 実						
			か。事業の内容、	業務の手順なる	ど)										実	績			計画・目標	
魚	津水族館開創)導入 けた事業計画の作)修繕やリニューフ											単位	22年度	23年度	24	4年度	25年度	26年度
	①入館者		何を対象にしてい	るのか。※人や	物、自然資源な	:ど)			-)年間入館者数	数			人	134, 377	126, 56	2	120, 000	145, 000	145, 000
対象	②魚津水族	館館内設備							1日 -)対象設備(オ	水族館設備			式	1		 	1	1	
									標 [3								1			
	①危険物貯	度の主な活動 蔵タンク更新 基づく当館施	エ事 ②空調用ボ	イラー更新工事	3屋内高圧電	■ 気受電盤外改修工■	事 ④中央監視装置更新	「工事外	活)事業計画に基	基づく各種	重工事 		式	1		 	1	1	1
手段	*平成24年 魚津水族館		事業計画に基づく!	リニューアルエ	事の実施				動指標 3											
意	①海洋水槽 ②開館から	でダイバーが	平成25年9月1	示魚類の説明を		行うことで来館者の る事業を策定し、計	D満足度が上がる。 画的に改修を行うこと	で、よりよい	成		年対比			%	87. 02	94. 1	3	94. 82	120. 83	100.00
区	③効果的な	改修を行い、	今後10年にわたっ	ての安定運営を	図る。				米指標 - 3					_						
	より魅力あ		を目指して、企画 やITを活用する			情が行われています。 いています。				<mark>指標が現段階</mark> fの満足度につい										
*	この事務事業	英開始のきっか	vけ (何年<頃>から	らどのようなき~	っかけで始まっ7	たか)				n.	(1)国・県	支出金		(千円)	0)	22, 056	0	(
						度にこの事業を開始	した。			期源	(2)地方債			(千円)	0)	0	0	(
ま	た、境水族国	目設備は用貼刀	いら30年が経過し、	至体的に老的1	こか激しくなつ	(いる。				内訳	(3)その他	(使用料・	手数料等)	(千円)	30, 655	23, 08	1	93, 624	22, 884	10, 700
										八百	(4)一般財	源		(千円)	0)	0	0	(
										Α.	予算(決算	1)額((1)~	(4)の合計)	(千円)	30, 655	23, 08	1	115, 680	22, 884	10, 700
						化(法改正、規制緩	和、社会情勢の変化な	ど)		①事	事務事業に	携わる正	E規職員数	(人)	3		1	4	4	
)近隣の水族創)来館者のニ−		物館のリニューフ	アルや施設の増設	茂。					②事	事務事業の	年間所要	時間	(時間)	1, 200	· ·		1, 600	1, 600	1, 600
			わないと早期に対	大きな故障を生し	じる可能性が極る	めて高い。							貸単価/千円)	(千円)	5, 046			6, 728	6, 728	6, 728
											務事業に係	- 1-2411	(A+B)	(千円)	35, 701	29, 81		122, 408	29, 612	17, 428
L			also en altra de		who refer to	and the part of the same of					参考) 人件			(円億時間)	4, 205			4, 205	4, 205	4, 205
					実際に寄せられ	れた意見・質問など	を記入)			♦ !	県内他市の	の実施状			いる内容又は把		由の記入	(欄)		
譲	云:リニュ=	- アルに際して	(の県費補助の獲得	₹。								している	→	山県内に	同様施設を持つ	他設かない。				

部・課・係名等 コード1 09070100

部 名 等

政策体系上の位置付け

政策の柱基4 人と文化を育むまちづくり

コード2

612003

1 *** o **	· Auto other	Ind		37 /m /-	L 00 - 00 J	KI A W & tatable	
		(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)				括と今後の方向性	
● 直結度大		生涯学習施設として、施設の抱える問題点や改善策を実施し、良好な状態に維持管理する必要度は高い。	(1)		西結果の		
直結度中	1	明		① E	的妥当的	性 ■ 適切 ○ 目的廃止又は再設定の余地あり	
直結度小	`			2 1	 	○ 適切 ● 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の妥	妥当性	E(なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		③ ダ	加率性	■ 適切 ○ コスト削減の余地あり	
法令など	によ	り市による実施が義務付けられている		4) ½	、平性	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり	
○法令など	によ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) なた 実施が妥当	(2)			事業の方向性	
				_		つまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
_		ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当) 終了	○ 廃止 ○ 休止	
○ 市が実施	巨して	いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当		-	•	3務事業と統合又は連携	
○ 既に目的	を達	成しているので、市の関与を廃止が妥当		_) 目的見		
根拠法令等を記	己入				事務事	業のやり方改善	
3. 目的見直しの	の余地	也(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)					
		現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。	★改	革・改	善案(レ゙	いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
	説				中	Z成25年の開館100周年に向けて、計画的な修繕とリニューアルを行う。	コストの方向性
なし	明						
【有効性の語	₩ (표			次生	年度		
1 1 4 7 7 7 1 T		· •			成24		146.4-
4. 成果回上の第		(成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)		年月	变)		増加
		今後、導入した設備をうまく活用することでの成果向上の余地はある。	実				
あり	説		施				
65 7	明		施予				
			定時		4	z成25年の開館100周年に向けて、計画的な修繕とリニューアルを行う。	成果の方向性
5. 連携すること	とで、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	期				
		修繕に関しては施設管理事業と連携することで、より効率的に行える可能性がある。	791				
	説			中・長	長期的		
あり	明				~ 5		向上
				年	旬)		H) I
	/mr 1						
【効率性の評価							
6. 事業費の削減		★地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)					
		平成25年度までは、継続して事業費が必要。					
なし	説						
, a C	明		★ -	次評価	f (課長)	総括評価)	
						Fに向けた改修・リニューアルを重点に行っているので、先送りされている大型の修繕	を計画的に
7. 人件費の削	減の	- 余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	進め	る必要	見がある。	0	二次評価の要
		工事の発注関係の業務、事業計画策定のための事務・打合せが主になるため削減の余地はない。					
	説						
なし	明						
							不要
1 1/ TF kl. ~ == 7 /m	- 1						
【公平性の評価							
8. 受益機会の適		公の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)					
		通常イベントを行うための設備の導入や将来的な水族館管理運営の適正化を図る事業であり、特定の受益者はいない。	*=	次評価	f (経営)	戦略会議評価)	
なし	説						
なし	明						
9. 受益者負担の	の適正	E化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)					
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		来館者を特定受益者とはみなしにくいが、今後は、設備の新設または改修の機会を捉えて入館料の引き上げを検討すべ					
		きである。					
低い	説明						
	רלי						

事 業 コード 61230015

事務事業名調査研究事業

【1枚目】

007010101

予 算 書 の 事 業 名 5. 調査研究事業	課 名 等	水族博	物館	政 策 名 1 明	日を担う人つ	づくり		款 1. 水族館	費	
事業期間 開始年度 昭和56年 終了年度 当面継続 業務分類 6.ソフト事業	係 名 等	飼育研	究係	施策名2生	涯学習の推進	É		項 1. 水族館	費	
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	記入者氏名	門田	信幸	区 分なし				1. 水族館	管理費	
	電話番号	0765-24	-4100	基本事業名 博物館	の充実					
				I I						
◆事業概要(どのような事業か)。事業の内容、業務の手順など)						実	績		計画・目標	
① 他園館からの情報収集 ②水生生物および地元生物の調査・研究					単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) ① 飼育職員 ② 展示情報 ③ 展示生物及び地元の河川・海の生物		① 飼	育員数		Д	7		8	8	8
対象	-	在	画調査数 -----		件 ——————	3	3	3	3	3
<平成23年度の主な活動内容>		3								
市内河川・沿岸及び県内の生物調査を実施手		活	≦実施回数 -------							
※ 平成24年度の変更点 ① 魚津生物多様性地域戦略の調査研究 ② 魚津・富山の生物調査 ③本事業は24年度より博物館事業に移管		指標								
(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) ① 他園館職員との情報交換により職員の飼育技術が向上する ② 地元生物の現状を把握できる		. ① 調:	查実施率 ------		% 	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
意図		果 2 = -								
そ < 施策の目指すすがた > のより魅力ある水族博物館を目指して、企画や展示の充実と施設設備の整備の他にアウトリーチ活動や I Tを活用する お な情報発信が行われている。 果	など積極的	↑成果指標	が現段階で取	得できていない場合、	その取得方	法を記入				
◆この事務事業開始のきっかけ (何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか)			(1)国	・県支出金	(千円)	0	0	0	0	C
調査研究は平成2年度から地元生物を把握する目的に開始した。			源 (2) 地	也方債	(千円)	0	0	-	0	0
			訳	の他(使用料・手数料		182	161		0	(
				-般財源 (決算)額((1)~(4)の合計	(千円)	0 182	161	_	0	(
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など	<i>3</i>)		_	事業に携わる正規職員 事業に携わる正規職員		102	2		2	2
社会一般に環境意識が高まり、地元野生生物や環境に関する興味や関心が増している。	- /			事業の年間所要時間	(時間)	600	600	_	600	600
				費 (②×人件費単価/千		2, 523	2, 523	2, 523	2, 523	2, 523
			事務事業	美に係る総費用 (A+B)	(千円)	2, 705	2, 684	2, 523	2, 523	2, 523
			(参考)	人件費単価	(円@時間)	4, 205	4, 205	4, 205	4, 205	4, 205
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)			◆県内	他市の実施状況		いる内容又は把	屋していない理師	由の記入欄)		
地元の河川の生物調査や、希少生物の調査を議会で要望されている。				把握している 世握していない	比較する同	等の施設が無い				

部・課・係名等 コード1

部 名 等

09070200

(教育機関)

政策体系上の位置付け

政策の柱基4 人と文化を育むまちづくり

コード2

612003

予算科目

コード3

会計 水族館博物館事業特別会計

[[[[]]]] [[[]]] [[[]]		
1. 施策への直結度(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)	★ 評価結果の総括と今後の方向性	
● 直結度大 無無無線的メインテーマが「北アルブスの渓流から日本海の深海まで」「富山湾を科学する」であり、テーマに スパース 原二 いきりにいます といます かきまんち まった ままんち	(1) 評価結果の総括	
説 沿った展示や普及活動を行うために重要な事業である。 回話度中 明	① 目的妥当性 ○ 適切 ● 目的廃止又は再設定の余地あり	
○直結度小	② 有効性	
2. 市の関与の妥当性(なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)	③ 効率性 ● 適切 ○ コスト削減の余地あり	
○ 法令などにより市による実施が義務付けられている	④ 公平性 ● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり	
- ************************************	(2) 今後の事務事業の方向性	
○ 法令などによる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なた め、市による実施が妥当	○ 現状のまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
● 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止	
○ 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当	○他の事務事業と統合又は連携	
○ 既に目的を達成しているので、市の関与を廃止が妥当	● 目的見直し	
の 配に口口がと達成でくい 切り 関子を廃止が 女日	●事務事業のやり方改善	
根拠法令等を記入	9 TWTA- (7/1961	
3. 目的見直しの余地(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)		
24年度より博物館事業との連携による見直し	★改革·改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
	★以中・以音楽(いう、とのような以中・以音を、とういう手技で行うか)	コストの方向性
あり <mark>説</mark> 明		コストの方向性
191		
	次年度	
【有効性の評価】	(平成24	
4. 成果向上の余地(成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)	年度)	維持
生物環境を把握でき、その環境に応じた展示ができる。		
	実	
あり <mark>期</mark>	施	
	定	成果の方向性
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(どう効果が高まるか説明)		
連帯することで、効果が高まる可能性のある他の事業がない。	791	
as a	中・長期的	
なし <mark>説</mark> 明	(3~5 24年度より博物館事業との連携により見直し	向上
	年間)	IH] IL
[At at the post pr		
【効率性の評価】		
6. 事業費の削減の余地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)		
職員の技術向上及び展示充実の必要があり、削減できない。		
なし <mark>説</mark>		
明 	★ 一次評価 (課長総括評価)	
	調査研究は、その目的を十分理解し、計画的に行う必要がある。また、水族館での展示や普及活動に活用する もに、広く調査研究に基づく情報を発信することは重要である。24年度は、生物多様性地域戦略の策定のための	とと
7. 人件費の削減の余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	もに、広く調査研究に基づく情報を発信することは重要である。24年度は、生物多様性地域戦略の東定のために 力が増大することから、優先順位を考えて、博物館事業の中で行う。	の協 二次評価の要
水族館は交代勤務をしており、全ての職員が常時いるわけではない。採集の日も前月の休みの予定表に組み込んでい		
る。また、ダイバー業務も飼育職員で行っているため、削減の余地なし。		
なし <mark>歌</mark> 明		
		不要
【公平性の評価】		
8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)		
展示や地域生物の調査なので特定受益者は生じない。	★二次評価(経営戦略会議評価)	
	★二八計Ⅲ(程昌戦哈云藏計Ⅲ)	
なし <mark>説</mark> III		
193		
9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)		
他の市町村に同じ施設がないため比較できない。		
現 競		
平均		

事 業 コード 61230014

【1枚目】

007010101

	事 務 事 業 名	本 業 名 企画展事業								(教育機関)		政策の柱基4	人と文化	とを育	むまちづくり		会計 水族館博物館事業特別会計				
	予 算 書 の 事 業 名	4. 企画展事業						等	;	水族博物館		政策名1	明日を担う	人づ	くり		款 1. 水族館費				
	事 業 期 間 開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	業務分類	6. ソフト事業	係名	等	1	飼育研究係		施 策 名 2	生涯学習の	推進			項 1. 水族館費				
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営 記7									ı	門田 信幸		区 分なし	,				1. 水族飢	1. 水族館管理費			
		<u> </u>		·			電話番	号	0	765–24–4100		基本事業名 博物	館の充実								
•	▶事業概要 (どのような事業	きか。事業の内容、	業務の手順な	ど)											実	績		計画・目標			
毎	≨年テーマを選び、特別展 <i>€</i>	ὲ場などで展示を行	うもの。事業	の実施により入館	『者の増加と水生	生物の知識が普及できる	0							単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		
	(この事務事業は、誰、 ① 館内入館者	何を対象にしてい	るのか。※人。	や物、自然資源な	ど)					 年間入場: 	者数			人	134, 377	126, 562	120, 000	145, 000	145, 000		
交									対象					- +							
/ 多									指標 標	2)							l				
									标												
	< 平成23年度の主な活動 夏の特別展、春のホタル		ト時の特別展を	示、写生大会の開 [・]	催					① 特別展開	催期間の	人場者数		人	113, 737	107, 122	102, 000	120, 000	120, 000		
₹	₽								活 動	② 特別展の	宇施同数			 回	e						
段	* 平成24年度の変更点 市制60周年と共催して、	百の企画屏と写生	十合た宝体						指標												
	川前の日本と共催して、	麦の正凹版と 子工	八云で天祀。						16	3											
	(この事務事業によって 特別展の実施により水族				た、入館者は水気	生生物に関する知識と興	味が増す。				催期間の	入場者数/年間入	場者数	%	84. 64	84. 63	85. 00	82. 75	82. 75		
意	<u> </u>								成果指	②				- 1							
12	X)								指標 -					- +							
									1.0												
7	- <施策の目指すすがた>								↑成	果指標が現段	階で取得	できていない場	合、その取行	得方法	去を記入						
の紹昇	ウ より魅力ある水族博物館 な情報発信が行われてい と		や展示の允美を	と施設設備の整備	の他にアワトリ-	- ナ沽動やIIを沽用す	るなと積極的														
	◆この事務事業開始のきっか										(1)国·	県支出金	(千	円)	0	0	0	0	(
昭	日和59年から実施。入館者の)減少に伴い、夏の	特別展を開催	した。その後入館	『者の多い春のホ	タルイカの時期にも開催	した。				源 (2)地方		(千	,	0		-	Ü	(
											記 (3) (3)	他(使用料・手数	(千 (千		2, 256	1, 860	· ·	2, 208	2, 208		
											(4)一般	: 対源 : 算)額((1)~(4)の1		,	2, 256		ū	ū	2. 208		
•	▶開始時期以後の事務事業を	・取り巻く環境の変	化と 今後予	想される環境変化	(法改正 規制	緩和 社会情勢の変化力	· J.")					に携わる正規職			2, 200	1,000	-	2, 200	2, 200		
	通常の飼育管理の増大がある											の年間所要時間		_	900		_	2, 700	2, 700		
												(②×人件費単価		円)	3, 785	4, 205	7, 569	11, 354	11, 354		
										1	事務事業に	係る総費用 (A	+B) (千	円)	6, 041	6, 065	9, 777	13, 562	13, 562		
											(参考) 人	、件費単価	(円@	時間)	4, 205	4, 205	4, 205	4, 205	4, 205		
	▶市民や議会などからの要望			、実際に寄せられ	た意見・質問な	どを記入)					◆県内他	市の実施状況			いる内容又は把払						
市	5内博物館との連携。魚津・	富山に係る情報発	信									握している	富山県	内の	動物園・植物園が	が独自の企画展る	を行っている。				
1											U 1E	か下 へ く 4 ハイ 4 4									

部・課・係名等 コード 1

09070200

政策体系上の位置付け

コード2

612003

予算科目

コード3

		(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)				終括と今後の方向性	
● 直結度大		企画展は、入館者に対して生涯学習のきっかけを与える意味が大きく、貢献度は大きい。	(1	L) 評1	価結果の	D総括	
直結度中		明		1	目的妥当	4性	
直結度小				2 1	有効性	○ 適切 ● 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の多	多当性	生(なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		3 \$	効率性	● 適切 ○ コスト削減の余地あり	
法令など	によ	り市による実施が義務付けられている		4 4	公平性	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり	
○ 法令などめ、市に	によ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なた 実施が妥当	(2			务事業の方向性 のまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
■ 昆門でも	#	- ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当		_) %(N)		
						事務事業と統合又は連携	
		いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当		•	○ 目的		
〇 既に目的	ど達	成しているので、市の関与を廃止が妥当		`	_	事業のやり方改善	
根拠法令等を記	八				争務	事来ので9万以晋	
3. 目的見直しの)余5	也(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)					
		現状の対象と意図は適切である。	★改	で革・改	(善案(いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
#~ 1	説					「ホタルイカ展」「教科書の世界へ飛び込もう展」「ハロウィーン展」を開催予定	コストの方向性
なし	明						
【有効性の記	亚征				年度		
1 147771		(成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)			区成24		維持
4. 灰木同工の方	< ME	社会のニーズを把握することで、成果の向上が望める。		牛	度)		小压 1-4
		LEAU NEILE VOLCE (MANIEL EUR)	実				
あり	説		施予				
	明		予				
			定時				成果の方向性
5. 連携すること	こで、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(どう効果が高まるか説明)	期				
		埋没林博物館、歴史民族博物館や水産業・商工業・教育機関と連帯した企画をすることで、今より実施効果が高まる。					
4.0	説				長期的		
あり	明				3~5 .間)	平成25年度は「希少生物展」を開催予定。他はニュースやニーズ性を見ながら検討。	向上
				'	IHJ/		
【効率性の評価	' ⊞ 1						
• // / / I		会地 (仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)					
0. 事業員の問題	~~~	社会のニーズは多様化・高度化しており、魅力ある企画展を求められている。また、水族館はさまざまな企画展が開催	<u> </u>				
		されていることが認知されており、情報の発信源並びに集客の社となる企画展の削減はできない。					
なし	説明			W. ATT	hr /am =	t An left size feet	
	773					総括評価)	
			104米	・研究	nn 辰じ、 究を行う	「恒例になっている「ホタルイカ展」は、マンネリ化を避けるために、工夫が必要で、その うべきである。毎年、行っている他の展示は、テーマの選択を早めに行い、内容を充実すへ)ための くきであ 二次評価の要否
7. 人件費の削	减の	余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	る。	一方で	で、効果	その薄い企画展などは見直しを行うべきである。他の、普及活動との関連を考慮することも	必要で
		少ない予算と人員で行っているので、削減はできない。	ある	。今往	发の予定	ミを早めに立てて、準備のための時間や、予算を確保する必要がある。	
なし	説		l				
.4.0	明						不要
			l				个安
【公平性の評価	1						
8. 受益機会の通	1	ビの余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)					
		企画展は、開催期間中にしか見ることができないのにもかかわらず、入館料は一緒である。持ち込み企画展やイベント	★	次評値	価 (経営	(戦略会議評価)	<u> </u>
	説	時に特別料金の設定が可能。			.,,		
なし	明		l				
0 亚米水4.4-	\ \mathred{\gamma}	ていのない(周中原士)と称り、 第二なる準み)					
9. 安益有負担の	ノ週1	正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か) 少ない経費で企画・実施しているので、手作りしている部分が増えている。職員も交代で休んでおり、担当者も1日企					
		少ない栓貨で企画・美施しているので、手作りしている部分が増えている。	l				
低い	説						
150 0	明						

事業コード

務 事 業 名 水族博物館事業

61230011

【1枚目】

007010101

予	算書の	事業名	3. 博物館事業					課 名 等	水族	博物館	政策名	4 1 明日を	を担う人づ	〈 り		款	1. 水族館	費	
事	業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	業務分類	6. ソフト事業	係 名 等	飼育	研究係	施策名	2 生涯学	学習の推進			項	1. 水族館	費	
実力	施方法	O 1. ł	指定管理者代行 (2. アウトソ	'ーシング 〇 3.	負担金・補助金	● 4. 市直営	記入者氏名	門田	信幸	区 分	なし				目	1. 水族館	管理費	
					II.			電話番号	0765-	24-4100	基本事業名	国博物館の発	実						
											J								
			業か。事業の内容											実	績			計画・目標	
① <i>オ</i>	K族館の常	設展示生物の	の飼育・管理(2)	常設展示生物	の運搬・収集 ③) その他晋及活動	に関わること						単位	22年度	23年度		24年度	25年度	26年度
			何を対象にしてN ② 入館者 ③	-	や物、自然資源な ント数	ど)			1 7	常設展示生物数	Þ		種	369	33	0	330	330	330
対象								-	1日	丰間入場者数			7	134, 377	126, 56	2	120, 000	145, 000	145, 000
									標	 市民向けイベン			件	0		4	10	10	10
		度の主な活動 の常設展示生		そうせい はまない ほっぱん はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	· 収集 ③市民向	けイベント、うお	づ水辺の調査隊の実施			展示生物数			点	11, 230	10, 21	7	11, 000	11, 000	11, 000
手段*	平成24年月	度の変更点								展示生物購入金			千円	2, 750	3, 95	1	3, 554	3, 554	3, 554
23	8年度実施の	のうおづ水辺	☑の調査隊は河川 <i>0</i>)みであったが、	、24年度は沿岸ま	で広げて実施			標	普及活動参加人	、数		٨	7, 246	6, 93	7	5, 000	8, 000	8, 000
			、対象をどのようで飼育できる。		生物に興味を持ち	、生涯学習の推進	になる。		① 4		Ξ物数/全年度 <i>σ</i>)展示生物数	. %	110. 80	90. 9	7	107. 66	100.00	100.00
意図								-	果 ② 原		盆額/博物館事業	· 費	%	36. 18	42. 2	7	40. 86	40. 86	40. 86
									標]			
7 <	施策の目打	指すすがた>	>						↑成果指	標が現段階で国	取得できていな	:い場合、そ	の取得方法	去を記入				<u>'</u>	
			官を目指して、企画 「行われている。	☑・展示や普及シ	活動の充実と施設	設備の整備の他に	アウトリーチ活動やIT	を活用する											
♦ こ 0	の事務事業	開始のきった	かけ (何年(頃)か	らどのようなき	っかけで始まった	(ימ:			<u> </u>	n. (1)	国・県支出金		(千円)	0		0	0	0	(
		21日に、一月 三代目が開f		の第2会場として	て初代魚津水族館が	が開館。昭和29年1	こ富山産業博覧会の魚津	会場として2代目	が建設され	ル、昭 源 (2)	地方債		(千円)	0		0	0	0	(
本口のロゴ	十に近任の	二八日が開	語 した。							内 (3)	その他(使用料	・手数料等)	(千円)	7, 600	7, 83	5	8, 697	8, 697	8, 697
										(4)	一般財源		(千円)	0		0	0	0	(
											算(決算)額((1)~		(千円)	7, 600	7, 83		8, 697	8, 697	8, 697
							和、社会情勢の変化な	E)			事業に携わるエ		(人)	1		2	2	2	
U M	也設を竹化	(2) 近隣(の水族館、博物館	ル理設やリーユ	.ーアル ③ 少子	·16					事業の年間所要		(時間)	800	,	_	1, 600	1, 600	1, 600
											件費 (②×人件)		(千円)	3, 364	6, 72	_	6, 728	6, 728	6, 728
											業に係る総費原	11 (A+B)	(千円)	10, 964	14, 56		15, 425	15, 425	15, 425
▲市局	よの業へか	じかこの 亜1	切。辛目 (切业本	カ利目ではかく	、実際に寄せられ	た音目・厨胆む じ	`た記す)) 人件費単価 内他市の実施状	-90	(円億時間)	4,205	4,20		4, 205	4, 205	4, 205
					、 夫际に奇せられ よび近隣施設との		'C 11L/\)			▼県ト	1回川の天旭仏			かる内容又は把す 施設が他にない	座していない理	田り記	コノへ作刺ノ		
<i>ш</i> .	. ,	<i>⊪.</i> 1. ₩.//.1		. a.v./u.s//0	. C. C ALPARIED C V	~_#3					把握している			2200 1210-00					
) 把握していた	211							

政策体系上の位置付け

政策の柱基4 人と文化を育むまちづくり

コード2

612003

予算科目

コード3

会計水族館博物館事業特別会計

09070200

(教育機関)

部・課・係名等 コード1

部 名 等

1 施策への直	古度	(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)	*	評価額	結果の終	総括と今後の方向性	
● 直結度大	H/X	展示などの事業を通して魚津・富山の水生生物に興味がわき、学習意欲が促進され、生涯学習が推進できる。			価結果の		
•		説	(1				
○直結度中		明		_	目的妥当	3 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
○ 直結度小				_	有効性	○ 適切 ● 成果向上の余地あり	
2. 市の関与の妥	当性	: (なぜ市が行わなければならないのか、民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)		3 3	効率性	● 適切 ○ コスト削減の余地あり	
		り市による実施が義務付けられている		4 2	公平性	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり	
○ 法令など め、市に	こよ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) なた 実施が妥当	(2			務事業の方向性 代のまま(又は計画どおり)継続実施 年度	
● 民間でも	ナー	ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当			終了		
_		いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当)事務事業と統合又は連携	
		成しているので、市の関与を廃止が妥当			_	5見直し	
0 %(СПП)	E (E)	WO CL DO CL TOWN TEXTEN ALL			_	8事業のやり方改善	
根拠法令等を記			<u> </u>		4-1/1	77.80 (77.98)	
3. 目的見直しの		」(【対象】と【意図】は適切か、限定又は追加・拡充すべきでないか、また、その理由)					
		適切	★改	革・改			コストと成果の方向性
なし	説					職員が調査研究や研修を行い、飼育技術や知識の情報収集は、より良い展示につながり	コストの方向性
なし	明					入館者の興味を持つ展示・解説ができる。また市民向けの市民参加イベントの検討を行 	
						, ,	
【有効性の語	区価	1			年度		
■ 1477711 11		成果の目標は達成されたか、成果の向上が今後どの程度見込めるか)			平成24		維持
4. 风木門工の赤		継続的な職員の業務に伴い飼育技術の向上が図られ、職員成果は上がる。		年	度)		4年1寸
		を表現しています。 できまた できまる かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	実				
あり	説		施予				
	明		子				
			定時				成果の方向性
5. 連携すること	で、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	期				
		市内外の博物館や教育機関、水産業関係などと連携をとることで展示・集客効果が高まる可能性はある。					
	説					魚津水族館従来のテーマ「北アルプスの渓流から日本海の深海まで」「富山湾を科学する」と100	
あり	明					周年の「もっと富山のこだわりたい」「世界の環境を伝えたい」「水族館の裏側をみせたい」3本の柱	向上
				4	-間)	を加え、展示向上を計る。さらにと市民参加システムを導入したい。	1-7-2-
【効率性の評価	r 1						
1771 T I		W. CH. Disk at D. Challet and L. Land on L. L. Land on L. L. Land and L. Land and L. L. Land and L.					
6. 事業質の削減		地(仕様や住民等の協力など手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)					
		魅力的な博物館事業を行うためには、調査研究・研修・普及活動に関連性が高く、削減はできない。					
なし	説						
, a C	明		\star	次評	価(課長	長総括評価)	
			魚津	水族	博物館の	の中心的な事業で、テーマに沿った展示や、特徴的な「ホタルイイカ・発光生物」「深海生物」	「希少
7. 人件費の削	或の多	会地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)			ど、個別 要がある	別のテーマや、水槽展示のテーマを設定し、観客に何を伝えたいのか、積極的で発信性のある ス	る展示 二次評価の要
		通常の魅力的な事業展開のため、事業は増大している。また100周年関係の改修業務もあり削減の余地なし。	Z 17	J 920:	≠N,00) @	જા ∘	
	∌ 4						
なし	説明						
	91						不要
I ∧ =							
【公平性の評価							
8. 受益機会の適		の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)					
		当館は市で運営しているので、他の市町村と区別して、市民だけを対象としたイベントも行っている。	★ 二	次評	価(経営	営戦略会議評価)	
<i>t</i> >1	説						
なし	明						
9 受益者負担の	適正	化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)					
0. 又皿日外四		市民が参加できる機会は今後、より一層必要となる。					
		THE SHOP OF THE SHOP OF THE SECOND					
低い	説						
	明						